

2023年度(2023.2.21~2024.2.20)

環境経営レポート



2024年5月19日

承認	作成
原田	菊池



認証番号 0012817

長野県茅野市米沢 36

株式会社 原田製麺

はじめに

2023 年度は 6 年目の環境マネジメントシステムへの取り組みでした。

2023 年度は、新型コロナの影響は大きく減少した年でした。しかしコンビニ業界は、その影響が大きく戻ることはありませんでした。

一方市場のニーズは変化が早く、新製品にすばやく対応し、重大事故を予防することが重要であると考えています。

当社は、食品安全と統合したエコアクション 21 を運用しており、活動の重要性を痛感しています。

6 年目の成果をまとめて、社会に公表します。

1. 事業活動の概要と環境活動実施体制

1-1.事業所名

株式会社 原田製麺

1-2.所在地

長野県茅野市米沢 36

1-3.環境保全関係の責任者及び担当者

経営者	:	代表取締役 原田恵一
環境管理責任者	:	専務取締役 原田邦彦
事務局	:	工場長 菊池信雄

1-4.連絡先

TEL	:	0266-72-2442
FAX	:	0266-72-2444
E-mail	:	nobuo-kikuchi@haradaseimen.co.jp

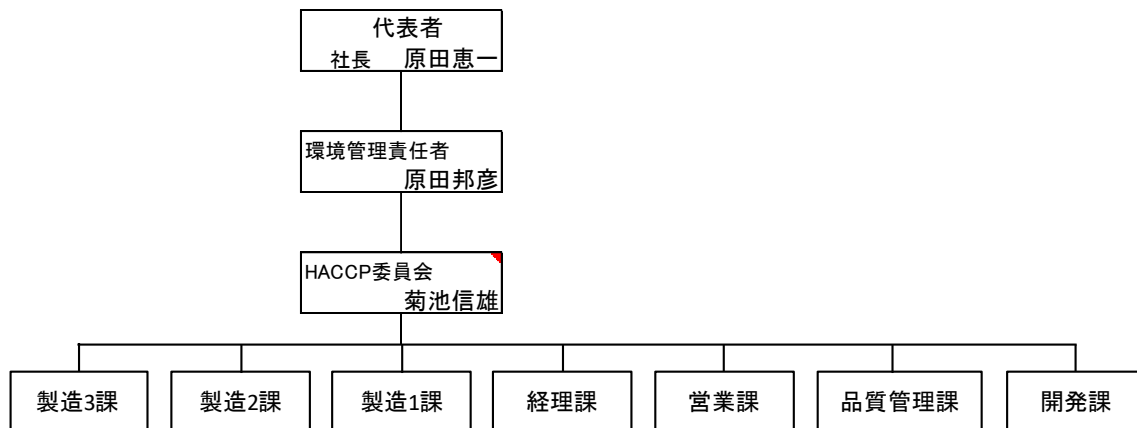
1-5.事業内容

麺類の設計・製造

1-6.事業規模

受注額	:	18 億 8 千万円(2023 年度)
従業員	:	90 名
延床面積	:	2304m ²

1-7.環境活動実施体制



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認 ・環境管理責任者の補佐、HACCP委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
HACCP委員会	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
内部監査チーム	・環境に関する内部監査の計画 ・環境に関する内部監査の実施・報告
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

2. 環境方針

環境経営方針

＜環境経営理念＞

当社は「簡単・おいしい・安心」の3つのバランスを大切にお客様に喜んでいただける商品を提供しております。さらに“おいしさの追求”“安心の徹底した品質管理”“社会ニーズを考える環境管理”を実践することにより、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

安全で安心していただける商品を効率よく、無駄なく、タイムリーにお客様に提供することが当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

＜環境保全への行動指針＞

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制につとめ、食品リサイクル率の向上に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 洗浄剤や殺菌剤など適正管理に努めます。
6. お客様、取引先が求める、安心で安全な商品を効率よく提供します。
7. 働く人、購買先と共存共栄し、社会に貢献します。
8. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

制定日:2018 年 6 月 1 日

代表取締役社長 原田恵一

3. 環境目標とその実績

3-1.環境目標および実施結果

2020 年度を基準年として、次の環境目標を設定しました。

売り上げの上下動を考慮し、目標は 100 万円原単位にて設定しました。

No.	項 目	2020 年度実績	2023 年度目標	2023 年度実績	評価
0	CO ₂ 削減 総量 (100 万円原単位)	2,314,696 kg CO ₂ (1,234 kg-CO ₂)	5%削減 1,172 kg-CO ₂	2,174,728 kg CO ₂ (1,159 kg-CO ₂)	○
1	電力による CO ₂ の 削減(100 万円原 単位)	495 kg-CO ₂	5%削減 470 kg-CO ₂	355 kg-CO ₂	○
2	自動車燃料による CO ₂ の削減 (100 万円原単位)	42.3 kg-CO ₂	5%削減 40.2 kg-CO ₂	39.8 kg-CO ₂	○
3	重油による CO ₂ 削 減 (100 万円原単位)	670 kg-CO ₂	5%削減 637 kg-CO ₂	711 kg-CO ₂	×
4	灯油による CO ₂ 削 減 (100 万円原単位)	24.9 kg-CO ₂	1%削減 23.8 kg-CO ₂	29.7 kg-CO ₂	×
5	一般廃棄物の削 減	142t	9%削減 129t	163t	×
6	廃プラスチックの 削減	54.2t (基準 2018 年度)	5%削減 51.5t	45.7t	○
7	水道水の削減	105,876 m ³	5%削減 100,582 m ³	110,524 m ³	×
8	食品廃棄物削減	2021 年度実績 99.8t	2%削減 97.8t	90.2t	○
9	食品廃棄物の再 資源化率の向上	100%	100%	100%	○
10	環境に配慮した生 産活動	新商品でのクレーム 予防 ロットテストの精度向 上	ロットテストの精度向上	ロットテストの精度向上	○

* CO₂ 排出係数

2022 年 中部電力ミライズ 0.459kgCO₂/kWh

* 電力はエネフューチャーなどの省エネの改善が出て 24%の削減となった。重油は 11%増加となってしまったが、ボイラー室の断熱処置の効果が出ていないのか、その他の要因があるのか、原因を精査する必要がある。

3-2.環境目標にもとづく環境活動(3~2月)

No.	2023 年度環境目標	活動項目(2023 年度／ 次年度変更事項)
1	電力による CO ₂ の削減 470 kg CO ₂ /100 万円	・温度管理システムによるチェックを行う。 ・調子の悪い機器は早めに修理し、ラインを止めない。 ・エネフューチャー設置の効果確認。 ・HACCP 会議は定期的開催し、不良・クレームを削減する。
		継続
2	自動車燃料による CO ₂ の削減 40.2 kg CO ₂ /100 万円	・効率的なルートで配送する。 ・更新時に低燃費車を選択する。
		・継続
3	重油による CO ₂ の削減 637 kg CO ₂ /100 万円	・品種をまとめて生産する。 ・ボイラー管理表でデータを把握し、問題に早期に対応する。
4	灯油による CO ₂ の削減 23.8 kg CO ₂ /100 万円	・空気吸入口を毎月清掃する。
		・送風について調整を行う。
5	一般廃棄物の削減 129t	・分別を徹底する。 ・裏紙を使用する。
		継続
6	廃プラスチックの削減 51,500 kg	・トッピングの教育を確実にを行う。
		継続
7	水道水の削減 100,582 m ³	・節水を行う。 ・自動水栓を取り付ける。
		継続
8	食品廃棄物削減 97.8t	・トッピング教育を具体的に行う。
		継続
9	食品廃棄物の再資源化率の向上 100%	・原料の賞味期限切れを防止する。 ・分かりやすいトッピング見本を作成し、教育する。
		継続
10	環境に配慮した生産活動 ロットテストの精度向上	・セブンイレブン様からの新商品について、ロットテストを行い、問題点を改善する。 ・HACCP 委員会の決定事項を推進する。
		継続

3-3.環境目標

＊2023 年度実績を基準として 2024～2026 年度の目標を毎年 1%削減とする。

なお、単位は売り上げの上下動を考慮して 100 万円原単位での削減目標とした。

No.	項 目	2023 年度実績	2024 年度目標	2025 年度目標	2026 年度目標
0	CO ₂ 削減 総量 (100 万円原単位)	2,174,728kg CO ₂ (1,159 kg-CO ₂)	1%削減 (1,148 kg-CO ₂)	2%削減 (1,136 kg-CO ₂)	3%削減 (1,125 kg-CO ₂)
1	電力による CO ₂ の 削減(100 万円原単 位)	355 kg-CO ₂	1%削減 351 kg-CO ₂	2%削減 347 kg-CO ₂	3%削減 344 kg-CO ₂
2	自動車燃料による CO ₂ の削減 (100 万円原単位)	39.8 kg-CO ₂	1%削減 39.4 kg-CO ₂	2%削減 39.0 kg-CO ₂	3%削減 38.6 kg-CO ₂
3	重油による CO ₂ 削 減 (100 万円原単位)	711 kg-CO ₂	1%削減 703 kg-CO ₂	2%削減 696 kg-CO ₂	3%削減 689 kg-CO ₂
4	灯油による CO ₂ 削 減 (100 万円原単位)	29.7 kg-CO ₂	1%削減 29.4 kg-CO ₂	2%削減 29.1 kg-CO ₂	3%削減 28.8 kg-CO ₂
5	一般廃棄物の削減	163t	1%削減 161t	2%削減 159t	3%削減 158t
6	廃プラスチックの削 減	45.7t	1%削減 45.2t	2%削減 44.7t	3%削減 44.3t
7	水道水の削減	110,524 m ³	1%削減 109,418 m ³	2%削減 108,313 m ³	3%削減 107,208 m ³
8	食品廃棄物削減	90.2t	1%削減 89.2t	2%削減 88.3t	3%削減 87.4t
9	食品廃棄物の再資 源化率の向上	100%	100%	100%	100%
10	環境に配慮した生 産活動	ロットテストの精度 向上	ロットテストの精度 向上	ロットテストの精度 向上	ロットテストの精度 向上

4. 環境教育の計画と実施

No.	教育訓練名称	対象者 実施日	講師	内容
1	全従業員教育	全従業員 2023.12	社長 有賀コンサルタント	環境経営方針 環境経営計画書の実施状況 重大事故(食品)を予防する。
2	緊急事態訓練	担当者 2023.11.23	工場長	地震、通報 重大事故対応マニュアル
3	緊急事態訓練	全社員 2023.2.27	工場長	食品重大事故

《緊急事態訓練結果》

・消防訓練、通報(R5/11/23 実施)

加熱室よりの出火に対する訓練を行ない、通報訓練も実施した。

落ちついて、適切に情報を伝えることは消防の人の質問に答えることであることを認識した。

・食品重大事故(R6/2/27 実施)

重大事故対応マニュアルの回収訓練を行なった。

5. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

次の法が適用され、2024 年 3 月 9 日、遵守の確認を行ったところ、下記のとおりでした。
 なお、関係当局及び外部よりの違反の指摘、訴訟等は、過去5年間ありません。

適用法	法規制内容		評価結果
廃掃法	・一般廃棄物、産業廃棄物の収集運搬・処理業者との契約 ・保管基準(掲示板の設置、飛散防止) ・マニフェスト管理(A B2 D E 票) ・産業廃棄物交付状況報告	○	・産業廃棄物の置場を清掃した。
食品リサイクル法	・再資源化率の目標を達成する。 ・廃棄物100t以上、定期報告	○	・目標値を達成。 ・定期報告義務なし。
騒音規制法	・地域指定外	○	・市条例により、特定施設設置確認書の提出済
下水道法	・特定施設 ・除害施設の設置 ・水質測定	○	・排水処理施設の設置 ・特定施設の設置届 ・水質測定、3 年間保管
フロン排出抑制法	・フロン類の回収業者への引き渡し ・第 1 種特定製品の簡易点検、有資格者による定期点検	○	・四半期毎の簡易点検 ・定期点検の実施
毒劇取締法	・盗難／漏洩防止 ・貯蔵場所に表示	○	・施錠管理 ・表示適正
消防法	・A 重油タンクの貯蔵所の許可	○	・A 重油 10kℓ 許可証

6. 代表者による全体の評価の見直し・指示

経営者による取組みの見直しを 2024 年 4 月 4 日に行い、次の結果が得られました。
その後の対応も追記しました。

インプット(審議事項)	アウトプット (見直し結果:社長指示)	担当	期限
(1)外部監査の結果 ・外部監査の指摘は 3 件未対応あり。	・すべて対応した。	—	—
(2)最近の不適合事例及び是正処置 ・是正処置が 2 件実施された。 ・JFS 監査が厳しくなっている。	・トッピング室の天井の断熱は効果がある。効果を把握する方法を検討する。 ・指摘されて直すのではなく、自社で発見できる体制が必要です。	工場長 HACCP チーム	12/末
(3)地域住民などの利害関係者からの苦情及び是正処置 ・環境クレームはない。 ・2023 年度の食品のクレームの傾向を確認した。 ・上記は HACCP 会議で FSMS の問題点として適切に改善されている。	・食品クレーム傾向としては異物混入が多い。	藤森	
(4)法規制、遵守評価、社会状況の変化 ・2024.3.9 遵守評価の結果問題なし。	—	—	—
(5)目標の達成状況 ・電力 ・自動車燃料 ・重油 ・灯油 ・一般廃棄物 ・廃プラスチック ・水道水 ・食品廃棄物 ・食品廃棄物再資源化 達成 ・環境に配慮した生産活動(ロットテストの精度向上)	・電気は達成 ・重油・灯油・一般廃棄物は未達成 ・水道水 10% 増加したが、HACCP の関連から十分洗浄する必要がありむずかしい。 ・トッピング室の天井・壁に断熱パネルを取付けたので、電気代の削減が期待できる。	工場長	12/末
(6)環境経営方針、環境経営目標及び計画、実施体制の見直し	・見直しの結果問題なし。	専務	—

以上